

こんにちは

NO. 21

日本の学童ほいくニュース

です

2006年12月 東京都学童保育連絡協議会 豊島区南大塚3-37-10
TEL 5951-2789 FAX 5951-2795
URL: <http://www.gakuho-tokyo.jp> E-mail: gakuho@a.toshima.ne.jp

今月号の特集は「指導員...どうしてですか親とのかかわり

わり」です。いじめ、自殺で大切な子どもの命が奪われています。大人社会の競争のなかで子どもたちも争いを強いられています。学童保育が担うこと、子どもとの関わり、親との関わり、大切にしたいですね。

今月号の一押し

その1 ずいそう



ピースとの出会い

高市敦広

「計画を立てない」?まだ日本では、ホッキョクグマの人工哺育は難しいと言われている中、「この子を育ててみせる!」と決意した高市さん。そこでたてたひとつの方針が「計画を立てない」という計画だったというのですから驚きです!何の前例もない、今生まれたばかりの、ありのままの子とともに現状を切り拓いていこうという決意だったそうです。それって...飼育係のホッキョクグマの赤ちゃんに対する思いだったかもしれないけれど、ましてや「計画を立てない」なんてとんでもないことに思えるけれど、何だかわたしたち指導員も、ちょっと立ち止まって考えてみたくなるようなメッセージに思えました。

その2

特集・指導員...どうしてですか親とのかかわり 「違い」を認め合うということ

教育研究者 大田 堯

なんかスッキリしたあ~!「教育というのは、直接の一期一会の交わり合いの中に創出されるアートです。だから、うまい方法やノウハウを知られば何とかなるということを期待するほうがまちがってると僕は思います!」「同化を求めると失望を増すばかりです」大田堯の言葉、シビれます!私たちが、ついつい「同じ考え方」というのをまわりに求めてしま

ないうちに子どもたちにも「自分と同じように」ということを求めていたんだと思う。「違いを受け入れあうためには、自分が不完全な人間だということを認めなければなりません」みんな完璧になろうとする。でも、不完全でもいいんだよね。だから、人の違いを受け入れられる、相手を尊敬できる、みんなで生きていこうとする、思うとおりにいかないうことを大切にしていける...そういうことだったんだ!!「思うとおりに変わることを期待しないことが、子どもにとって大事にされることだと思います」大田先生、ズバツと言ってくれてありがとう!!

12月号の特集

指導員...どうしてですか親とのかかわり

「違い」を認め合うということ

教育研究者 大田 堯

共に子育てをする仲間として

寝屋川市北小ひまわり学級指導員 馬場 始延

お母さんが気付かせてくれたこと

西京町太陽学童指導員 山内 奈保子

伝え合うことは学童保育の要

草加市両新田学童クラブ指導員 竹内 れい子

信頼のもとづく関係を築くために

白山市千代野ありんこ学童クラブ保護者 室 陽子

あたたかいまなざしを感じて

練馬区東大泉児童館第二学童クラブ保護者 白石 雅子

「親と指導員のかかわり」について思うこと

読者の投稿とわたしも思います。

今月の都連協人

特集・指導員...どうしてですか親とのかかわり
あたたかいまなざしを感じて
練馬区東大泉児童館第二学童クラブ保護者
白石 雅子

仕事・職場のいま
私の職業はITアーキテクトです
荒川区花の木学童クラブ保護者 北田 智子

読者のひろば
謎は解決したけれど
江戸川区指導員 田淵 美香

たのしいな **亀の子**
目黒区原町住区センター児童館学童クラブ

ほいく誌の感想、このニュースへの意見、いろいろ
お寄せください。
作り手も募集しています。

今月号の一押しその2

その1

特集・指導員...どうしてですか親とのかかわり
お母さんが気付かせてくれたこと

西京町太陽学童指導員 山内 奈保子
「どうして?わたしはこの子のためにいろいろとやっているのに、自身ももてないでいる子の母との会話で「やりすぎではありませんか」と言ってしまった指導員。そのひと言から、その母と指導員との関係がギクシャクしてしまいます。時がたち、やっと話ができるようになった時お母さんの大変さをないがしろにし、ついつい「わかってほしい」と先回りしすぎていたこと、急いで判断を下していたことに気付いたという山内さんでした。指導員は教えさとす人ではなく、保護者と一緒に歩いていく人

その2

特集・指導員...どうしてですか親とのかかわり
あたたかいまなざしを感じて

練馬区東大泉児童館第二学童クラブ保護者

白石 雅子

白石さんの投稿を読んで、連綿と綴る指導員の何気ないひと言がお母さんの心をあたためていたんだなあ...と改めて連綿の大切さには気がされました。逆に言えば、何気ないひと言で保護者の心を傷つけてしまうこともあるということです。指導員と保護者をつなぐかけ橋である連綿は、受けとる側が読んでうれしくなったり元気が出たりする内容でなければ、ね。

その3

仕事・職場のいま

私の職業はITアーキテクトです

荒川区花の木学童クラブ保護者 北田 智子

北田さんは東京荒川区の花の木学童クラブのお母さんです。「ITアーキテクト」というとてもハードなお仕事をされています。大きなプロジェクトを進めていく仕事の内容もさながら、休日出勤や子どもに夕食を食べさせてからの再出勤など、子育てをしながらこの大変なお仕事をされているということに、まずビックリ!!

次号予告 1月号

特集・応援!働きながらの子育て

- ・広まり深まる子育ての困難 田中孝彦
- ・働きながらの子育てによせる思い 保護者から
- ・働きながらの子育てを励まして 指導員から

ずいそう

高市敦広

講座・障害児の発達保障と生活づくり

白石正久

子どもたちのまなざし

土佐いづ子

試せばハマる家事のワザ

佐光紀子

カメラでこんにちは/父母会/子育て日記/わたしは指導員/クイズ/まんが/子どものひろば/読者のひろば/ほか